

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

<b>事業名</b>	バルト三国との関係強化セミナー開催経費		<b>担当部局庁</b>	欧州局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成20年度開始		<b>担当課室</b>	西欧課		課長 柳 淳		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	I-4 欧州地域外交				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第二項		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際社会における自由、民主主義、法の支配等の普遍的価値を基礎に政治的安定と経済的繁栄を持続的に達成する地域を形成していくために、旧ソ連からの独立後いち早く民主化を進め、2004年にはEU、NATO加盟を果たしたバルト三国との協力関係強化のための基盤を構築する。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	バルト三国より、これら諸国の将来を担う有識者を1週間程度、我が国に招聘し、当該国政策・事情についての発信の機会を設ける。さらに、我が国の有識者との意見交換や視察等を通じて、日本の政治・経済・社会・文化事情及び政策といった対日理解を促進させる。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	6	6	7	5	5	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	6	6	7	5	5	
	執行額	6	5	4				
	執行率(%)	98.4	78.0	67.1				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	①バルト三国参加者に我が国の政治・経済・社会事情について知見を有せしめる点については、フォローアップにてはかる。②国内でバルト三国に対する関心を喚起する点については、セミナーへの一般人の参加者数が一つの参考の指標になる。		成果実績	人数	15名	42名	56名	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	セミナー招へい者		活動実績 (当初見込み)	人数	5名	6名	6名	- (6)
<b>単位当たりコスト</b>	(円/ )		算出根拠	成果実績を定量的に示すことが出来ない。				
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	接遇経費	4812	4513					
	会議運営委託	398	695					
	計	5210	5208					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	バルト三国については日本国内での知名度が低く、よって、国民に広くニーズがあるとは言い難く、また地方自治体・民間等による事業実施は期待できない状況である。しかし、逆説的ではあるが、だからこそ当省が実施することが必要と考えられる。すなわち、広くニーズがないため、同地域との交流関係を政府が率先して推薦していくことは重要。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・支出は、滞在費、交通費、通訳、エスコート代に限定されており、会議開催については、共催者の協力を得ることによって会場料を無料とするなど、経費抑制が十分にされている。 ・また、上記費用の支出先としての業者選定は一般競争入札によりなされており、競争性は高い。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	第1～第3回までの実施実績があるが、回を追う毎に、日本からの参加人数が増加している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>バルト三国の日本国内での知名度が低いことから、国民の広い層に需要があるとは言い難い。一方で、本件セミナーは比較的少ない予算で実施でき、またバルト側から高いレベルの参加者を得ることで、日・バルト三国双方において注目を得やすいことから、バルト三国の将来を担う指導者を我が国に招聘し、我が国の有識者との意見交換や視察等を通じて対日理解を促進させ、日・バルト三国間の協力関係強化のための基盤を構築していくことの実現する上で費用対効果は高いと言える。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業見直し、単価見直し等による減		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(事業見直し、単価見直し等による減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

外務省

4百万円

〔 パルト三国との関係強化セミナー開催経費 〕



〔 一般競争入札 〕

A (株)国際ビジネスサポート

4百万円

〔 セミナー開催業務及び接遇 〕

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	セミナー開催業務及び接遇	4			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)国際ビジネスサポート	セミナー開催業務及び接遇	4	5	73
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					